

政策 6

K O S H I C I T Y

産業の健幸

本市の基幹産業である農業をはじめ、商工業など産業全体の振興を図るため、生産・販売力の強化による所得向上、後継者の確保・育成、企業誘致による働く場の確保、新たな産業の創出、特産品の開発などに努め、本市で暮らし、市内で働ける環境づくりを推進します。

施策 23 農業の振興

【業務分野】

- 生産基盤の確保と経営力の強化
- 後継者の育成
- 関係機関との連携の強化

現 状

農業者減少・高齢化対策・農業への理解促進

農業後継者及び担い手不足による農業者の減少や高齢化が進んでいます。

さらに近年は、国際情勢等により、飼料や肥料、農業用資材等の価格が高騰し、農業経営を圧迫しています。また、住宅地等との混在化により営農しづらい地域もあります。

農地の減少対策及び農村環境の維持

中九州横断道路の建設や、半導体関連企業の進出が予定されており、農地の減少が懸念されます。また、農村地域の過疎化や高齢化により、地域の共同活動で支えられていた農道や水路、ため池等の農村環境の維持が困難になっています。

6次産業化やブランド化の支援

単に農産物を生産するだけではなく、第2次産業・第3次産業（加工・販売等）との連携・融合によって、農産物の高付加価値化や販路開拓・拡大等、地域農業を基軸とした新たな地域ビジネスの創出及び活性化が期待されます。

課 題

新規就農者、農業に参入する企業など、様々な担い手の育成・確保が必要です。加えて、農業経営効率化のため農地の集積、集約化及び法人化を図るとともに、農作業の負担軽減を進める必要があります。

また、非農家の方への農業への理解促進が必要です。

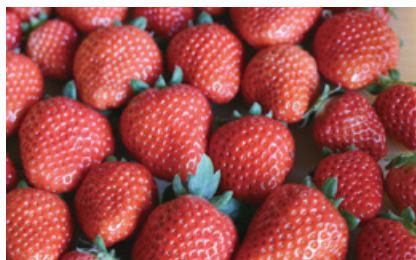
農地などに影響を与える開発計画等に対しては、早い段階からの調整や協議が必要です。

また、農道や水路、ため池等の農村環境の地域資源を自らの手で適切に保全する組織を増やすため、地域活動組織への支援が必要です。

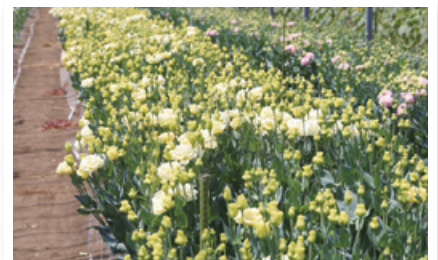
農業を基軸としたあらゆる産業主体とフィールドを繋げる取り組みが必要となっています。6次産業化、農商工福連携を更に進めるため、ブランド化や特産品の創出、販路拡大が必要です。



市内の牛舎



合志市産のいちご



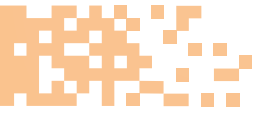
市内のトルコギキョウ畑

■ 施策に関連する個別計画

計画名	開始年度	終了年度
合志市農業振興地域整備計画	H21	-
担い手育成支援事業実施計画	H26	-

2027年 目指す姿

魅力ある農業が営まれるまち



対 策 ・ 取 組



市民提案
 対策・取組のマークの説明
 市民等ワークショップの市民提案を反映させた取り組み

- 新規就農者への支援として、市独自の補助事業の創設、営農指導、農業者の法人化支援等に取り組みます。
- 農地の利用集積及び集約化の促進（地域計画の策定）を行います。
- 農作業の効率化や省力化のため、スマート農業の導入を支援します。
- 飼料や肥料、農業用資材等の価格高騰への対策を行います。
- 農業体験などを通じて市民の農業理解を深めていきます。



- 農業振興地域等のまとまりのある農地の保全を行います。
- 農地の権利取得の許可申請については、厳正な審査を行うことにより、投機目的や資産保有目的での優良農地の権利取得の防止を図ります。
- 地域活動組織の事務負担を軽減させるために、活動組織の広域化を目指します。また、共同で組織が活動するなど、農村環境が維持できる組織づくりの強化に取り組みます。

- 関係機関との連携により、高付加価値の農産物の開発や、小面積で高収入化を図る施設における農業等の研究を推進します。

■ 施策の評価指標と目標値

指標名		R4(実績値)	R9(目標値)
認定農業者数	人	258	268
生産農業所得(認定農業者1戸あたり)	万円	612	640
認定農業者の法人化率	%	21.7	27.0

施策 24

商工・観光業の振興

【業務分野】

- 人材確保と生産・販売力の強化
- 交流拠点の創出

現 状

中小企業・小規模事業者への支援

中小・小規模事業者は大企業と比較して、近年の景気変動や、経済・社会情勢の激しい変化に対応できる経営基盤が整っていないところが多くあります。本市は人口増加や大手半導体関連企業の進出等による経済発展の機会に恵まれており、これらを契機とした、市内事業者の成長・持続的発展が期待されます。

産業間連携による交流拠点の創出

本市は工業団地が複数あり、半導体産業をはじめとした工業は盛んである一方、観光や商業においては、そのシンボルとなるような施設が少ない状況です。

課 題

本市は他の基礎自治体と比較すると、特産品や観光資源が少ないため、これらを磨き上げ、新たな商品等の開発、販路拡大やインバウンド需要の拡大を図る必要があります。

国内外から様々な人が交流できる拠点を整備することで、交流人口の増加と地域経済の更なる発展に繋げることが重要です。



牛乳消費拡大キャンペーン（ユーパレス弁天）



市民まつりでの商工会女性部の活動



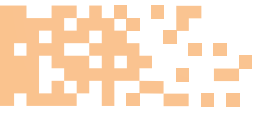
商工会青年部によるこうし夜市

■ 施策に関連する個別計画

計画名	開始年度	終了年度
産業競争力強化法に基づく認定創業支援等事業計画	H28	R10
中小企業等経営強化法に基づく合志市導入促進基本計画	H30	R6

2027年
目指す姿

商工・観光業の発展で活力あふれるまち



対 策 ・ 取 組

- 同業種間や異業種間の連携協力を図っていくため、商工会の支援を引き続き行うほか、中小・小規模事業者への伴走型の支援に取り組みます。
- 本市の農産物や観光資源を活かした、特産品の掘り起こしや商工業者のPRの場の創設等に取り組みます。
- 御代志駅周辺の開発に伴い、中小企業・小規模事業者の活力強化と賑わいの場創出に繋がる取り組みを行います。

- 本市の基幹産業のひとつである農業や、食・健康に関する観光・商業機能等を持つ、人が集うことができる新たな交流拠点の創出を、関係商工業との連携のもと進めます。

■ 施策の評価指標と目標値

指標名		R4(実績値)	R9(目標値)
創業支援事業補助金の活用件数	件	9	11
観光客入込客数	人	1,290,659	1,700,000

施策 25

企業誘致の促進と働く場の確保

【業務分野】

- 異業種連携の促進
- 企業誘致の促進
- 雇用環境の充実支援と就業機会の確保

現 状

優良企業の誘致に必要な環境整備

本市をはじめ近隣地域の半導体産業に関する企業立地が加速しており、市営工業団地整備の需要が高まっています。また、民間開発の工業団地整備の相談も増えている状況です。

若者等人材の確保・地元定着の推進

人手不足は、安定した企業活動の継続に影響を与えています。特に、中小企業では人手不足が深刻になっている事業者も多くあります。

クリエイター育成と就業への推進

市外・県外への若者等の流出を防ぎ、市内での就職・創業等の機会確保が求められています。こうした背景から、本市では、映像制作技術を学び、地元の魅力を発信する「市民クリエイター」を育成するため、「クリエイター塾」を開催しており、起業や就業に繋がったケースも複数あります。

課 題

地元雇用に繋がる企業誘致が必要ですが、市営工業団地の空きがなく、整備を進める必要があります。県・国等との連携、既立地企業への支援、市企業等連絡協議会の活動支援が必要です。

市企業等連絡協議会や商工会等と連携し職場体験事業等を活用し、市内中学生が早い段階から地場企業を知り、社会構造を学ぶ機会を創出することにより、将来における人材定着を促進することが必要です。

また、人手不足解消のため、本市への移住を促進し、さらに、一時的な移住とならないように取り組むことが重要です。

「クリエイター塾」を単なる講習の場のみとすることなく、起業に向けた機運醸成を図ることが求められます。



クリエイター塾



東北企業ガイダンス



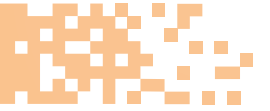
市内企業工場の様子

■ 施策に関連する計画等

計画名	開始年度	終了年度
産業競争力強化法に基づく認定創業支援等事業計画	H28	R10
中小企業等経営強化法に基づく合志市導入促進基本計画	H30	R6

2027年
目指す姿

産業連携・共生により労働環境の充実したまち



対 策 ・ 取 組

- 市営工業団地整備を進め、企業誘致に繋がる情報の収集や提供等のPR活動に取り組みます。
- 企業誘致に伴う公共インフラ等の環境整備について県や近隣自治体との連携・協力を努め、立地する企業に対しても協力を得られるように取り組みます。

- 県産業雇用安定センター等と連携して、企業の雇用を維持し、失業させない労働環境整備のため、出向・副業に関する人材マッチング（就職相談会、新卒者・UIJターン就職希望者と市内企業との出会いの場の創設等）を実施します。
- 市の魅力を発信することで、多種多様な人材を確保し、移住・定住者の定着に取り組みます。

- 塾生募集の段階から、起業に向けた意識を醸成することで、機運醸成を図ります。

■ 施策の評価指標と目標値

指標名		R4(実績値)	R9(目標値)
新規企業立地数(年間)	件	1	1
クリエイター塾生のクリエイターとしての就業・創業者数	人	6	8



定期的に開催されるマルシェ



ハロウィンスイカ (生産直売所クラッシーノ・マルシェ)



市内企業工場の様子